

事務事業名 林業振興対策助成事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：454

施策：	12	農林業の振興	財務コード	01050201-04-377
基本事業：	05	森林の保全	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	適切に管理されている人工林の割合		担当課	農政課
			担当係	農林土木担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成04年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
福岡県広域森林組合			福岡県広域森林組合が行う造林事業に対し、森林所有者の負担軽減を目的として、補助金を交付する。 <令和6年度実績> ・造林事業補助金：2,000,000円 47.07ha  福岡県広域森林組合が福岡県営山神ダムの水質保全及び水源地域の涵養等の環境整備を実施するための補助金を交付する。 <令和6年度実績> ・水源保全地整備事業助成金：2,500,000円 7.77ha						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
森林の有する生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養などの公益的機能の維持を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
施業面積（造林事業面積）		ha	23	47	5	64			-
5. コスト									
事業費		計	千円	4,500	4,500	4,500	4,500		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	2,500	2,500	2,500	2,500		
一般	千円	2,000	2,000	2,000	2,000				
正職員人工数		人工	0.05	0.1	0.15				
正職員人件費		千円	391	802	1,257				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,891	5,302	5,757	4,500			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		<状況> 年度ごとの計画的な施業面積の造林事業が実施されているが、十分な森林の手入れが出来ていない状況にある。 <原因> 国産材価格の低迷や林業従事者の高齢化と減少が進んでいるため。 <課題> 計画施業面積の広域化が求められている。							
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
林業振興対策助成金は、福岡県広域森林組合の経営を支援するものであるが、広域合併から数年が経過し、補助を行っている自治体が少なく収支も安定しているため、令和3年度から段階的に補助金の削減を行い、令和5年度から廃止。			市内森林の保全を目的に造林事業補助金の交付を開始。（平成10年度） 水源地の保全を目的として、水源保全林整備事業補助金の交付を開始。（平成23年度）						